



令和5年 5月 15日
発行者 横浜市立篠原中学校
校長 濱崎 利司

5月号

いざ、京都～大阪、上野・浅草、こどもの国へ

校長 濱崎 利司

五連休のGWが終わって、はや1週間が過ぎました。この週は、本当にあっという間でした。それもそのはず、3年生は 17 日から修学旅行(京都・奈良・大阪)、翌週は2年生が 23 日に校外学習(東京)、1年生は来月 16 日にこどもの国へ遠足です。今そのための準備が“突貫工事”で進んでいます。各学年の先生方も思い出深いもの、成功とさせるために最後の詰めを怠ることなく、尽力しています。私も着任1年目ですので、全ての旅行行事に“団長”として参加予定です。

教室や校内での授業等で学ぶだけではなく、実際に現地で学ぶことも重要です。しかし、この3年間は、それが難しい状況でした。日本の歴史・伝統・文化の重みを京都や奈良、大阪、東京で感じることができません。長い年月や近代化の中で培われた、数多くの歴史文化を直接観る(眼だけではなく、心で感じる)、実際に現地で、肌で感じてほしいと思います。

さらに班別自主行動や団体行動の中で、自分たちで決めたルールやマナーを守り、お互いが積極的なコミュニケーションを取り合い、助け合い、協力し合って、皆さんにとって思い出とすることだけではなく、これからの学校生活に繋げてくれるものと期待します。無事に帰ることを心に留め、さあ行きましょう!



認証式

4月19日(水)体育館で認証式が行われました。各委員会代表の3年生が認証書を校長先生から授与されました。もらった生徒は「学校生活を今よりもよくするために頑張りたいです。」と話をしてくれました。その後、各学級で担任の先生から委員会生徒に認証書が授与され、各クラスから拍手が聞こえてきました。21日の第1回各種委員会でも年間活動計画の確認や年間活動目標決め、常時活動の確認などそれぞれの委員会が篠原中学校のために活動していました。みんなでよりよい篠原中学校を作り上げていってほしいです。



避難訓練

4月21日(金)6校時に全校で避難訓練を実施しました。2・3年生は東日本大震災で被災された宮城県石巻市釜谷地区にある大川小学校との関わりで学んだことを意識しながら、「お・か・し・も」＝「押さない・かけない・しゃべらない・戻らない」を合言葉に自助・共助について改めて考え、訓練することができました。1年生は、教室からの経路の確認等をしっかりと行い、万が一の事態の時にどう判断して動けばよいのかを考える有意義な時間を過ごすことができました。今後も、5W1H(いつ・どこで・誰が・何を・なぜ・どのように)を意識し、教職員同士で連携を取れるよう努めていきたいと思ひます。



ひまわり運動

生徒会本部より連絡です。

今年度もひまわり運動の一環として、種植え活動を行います。篠原中学校で植え活動が始まったのは、2011年の東日本大震災の際に、当時の生徒会本部被災地の仙台を訪問したことがきっかけで、被災地よりひまわりの種が送られてきてがスタートでした。

東日本大震災のことを風化させない、篠原の防災の象徴であるということ、そして近年では、篠原の笑顔の象徴として篠原中学校を輝かせていこうという思いをこめて、ひまわり運動を続けています。今年度の種植えは5月9日(火)でした。皆さん今年もたくさんの種を植えましょう。



種
が
た
こ

て
め
で

吹奏楽部定期演奏会

年度末の3月29日に横須賀芸術劇場大ホールにて第29回吹奏楽部定期演奏会が行われました。卒業生を中心に華やかに演奏が行われました。感動の中にもコミカルな笑いも取り入れ、大いに盛り上がる演奏を繰り広げました。1・2年生はこの伝統を引き継ぎ、さらに進化した吹奏楽部を創り上げていきたいと思います。

